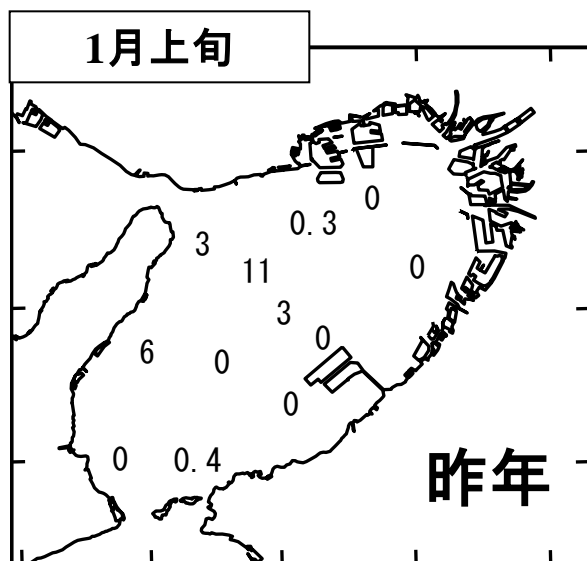


今春のイカナゴ発生状況について(中間結果)

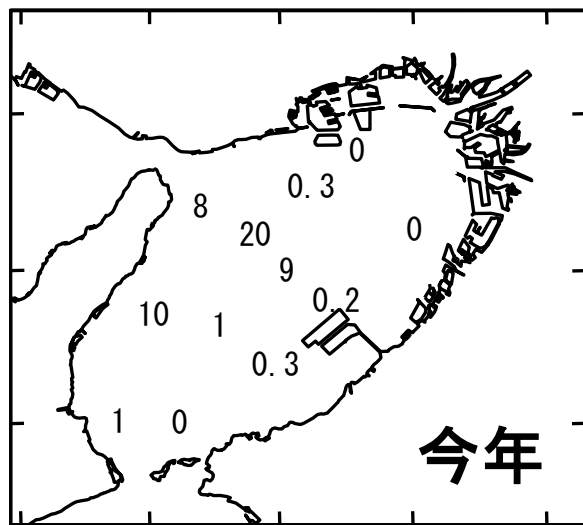
(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所 水産技術センター

- ★ 鹿ノ瀬における今期の産卵量は、過去最低であった昨シーズンとほぼ同様であったと推測されます。産卵盛期は昨シーズンよりやや遅い12月26日から1月6日の間と推定されています。(兵庫県水産技術センターの調査結果による)
- ★ 大阪湾内で2回の仔魚調査を実施しました。1回目調査では湾中央部を中心に採集され、2回目調査では湾西部から中央部で採集されました。平均仔魚数は、1回目調査では昨年より多く、2回目調査では昨年並みでした。平均全長は、1回目調査では昨年並みでしたが、2回目調査では昨年同時期よりも大きくなりました。(図1)
- ★ 水温は、1月中旬まで概ね平年より高めで推移しています。西風は、1月上旬に平年を上回りましたがそれ以外の期間は平年並みか平年を下回っています。(図2、図3)
- ★ これらの結果は現在までの中間的なものです。このあと、1月下旬～2月上旬に3回目の仔魚調査をおこなったうえで、2月中旬に漁況予報を発表しますので、最終的な予測についてはそれをお待ちください。

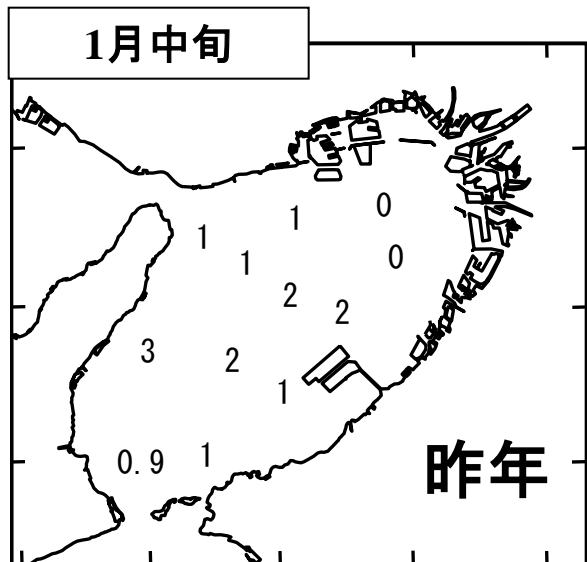
図1 1月上旬、1月中旬のイカナゴ仔魚の採集数
ボンゴネット往復傾斜曳きによる、面積1平方mの水柱あたりの尾数



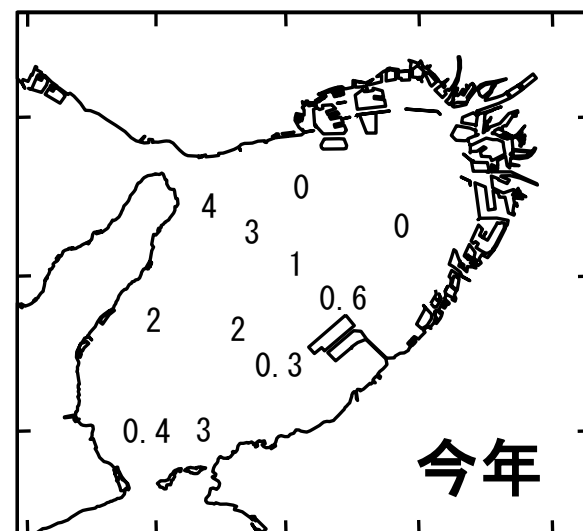
昨年1月6日 平均全長 3.9 mm
1点あたり平均仔魚数 1.7尾



今年1月6,7日 平均全長 3.7 mm
1点あたり平均仔魚数 4.1尾



昨年1月20日 平均全長 6.2 mm
1点あたり平均仔魚数 1.4尾



今年1月19日 平均全長 7.6 mm
1点あたり平均仔魚数 1.3尾

図2 大阪湾口部の水温変化 水産技術センター前、午前9時の水深約3 m
※平年値は、平成4年-令和7年の平均

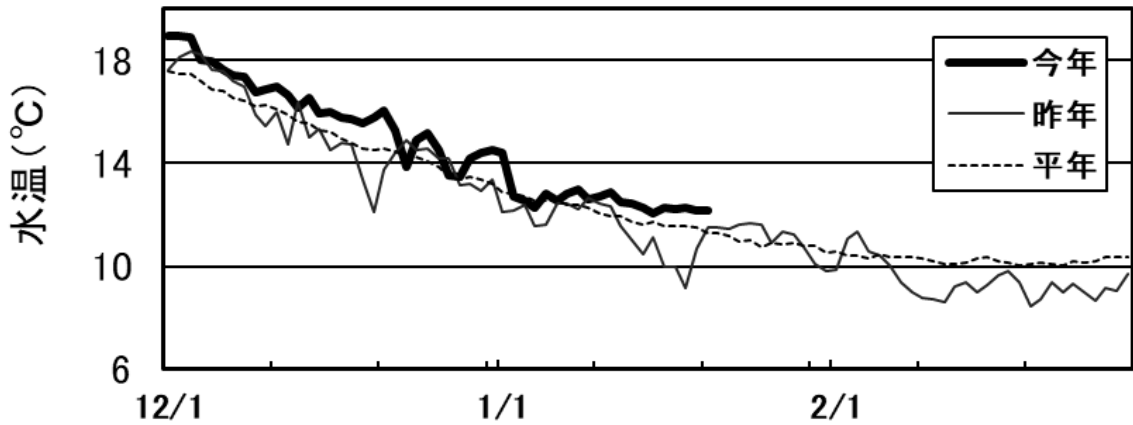
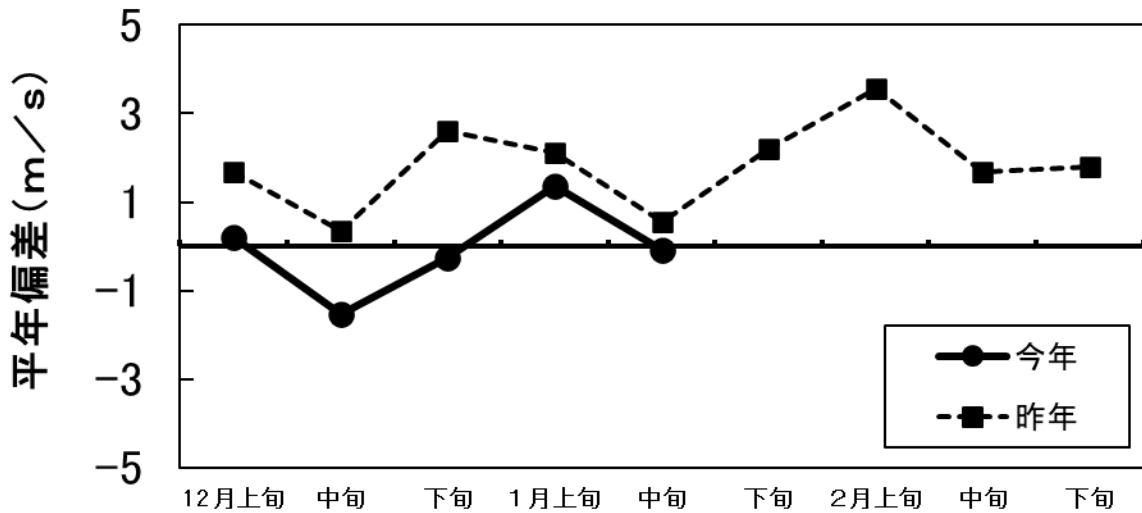


図3 西風成分の平年偏差 水産技術センター定置観測、旬別平年偏差値
※平年値は、昭和56年-令和7年の平均



参考資料) 兵庫県水産技術センターのイカナゴ仔魚分布調査結果
(ボンゴネットの表層から底層までの往復傾斜曳きによる採集尾数、単位: 尾/m²)

